

# 広げよう！若手生産者の輪

## －農業経営体育成セミナー合同研修の開催－

### 1 活動のねらい

近年、管内の新規就農者は多様化しており、就農前の経歴や年齢は様々で、農外からの新規参入も増えています。平成29年度は農業経営体育成セミナーにおいて、新規就農者の就農定着、経営の確立を目指し、営農に必要な知識・技術の習得を図るとともに、地域を超えた新規就農者同士の交流を促しました。

### 2 課題の背景

農業事務所では例年、就農間もない青年農業者を対象に3年間にわたり段階的に学習する農業経営体育成セミナーを実施しています。研修生（基本：14名、専門：8名、総合7名、計29名）は露地野菜経営が約7割と多いため、研修内容も偏りがちになります。それ以外の経営類型の研修生に対応するため、酪農や果樹に関する専門的な研修や、年次をまたいでの合同研修を企画しました。

### 3 普及活動の経過・結果

#### (1) 専門的研修の開催

農業経営体育成セミナーにおいて、酪農、果樹経営の研修生への対応として、専門的な内容の合同研修を企画しました。

酪農研修では、夏場の牛舎の暑熱対策及びハエ類対策に関する講義と、研修生の牛舎でバーンミーティング（対象牛舎の長所・短所について指摘し合い、技術改善につなげる手法）を行いました。特別に参加した千葉市の若手酪農研究組織「COW 飼う会」のメンバーからアドバイスやエールを受けたことで、営農への意欲が高まりました。



バーンミーティングの様子（酪農研修）

果樹研修では、梨の改植をテーマに、計画的な改植の必要性と、様々な改植方法の特徴について講義を行いました。また、実際に12年前から計画的な改植を行っている先進事例を視察することで、長期的な栽培計画について考えることができました。なお、当日は梨経営の研修生3名以外に、他類型の研修生4名の参加があり、研修生の学習意欲の高さをうかがい知ることができました。

## (2) 青年農業者団体との交流

今年度は、積極的に他地域の青年農業者と交流を深めました。

11月上旬に、安房地域で有機栽培を軸に結成された「南房総オーガニック」メンバー2名のほ場を視察し、栽培管理や販路の開拓の方法、組織の活動について話を聞きました。生産者同士の情報交換の場だけでなく、マルシェや収穫体験のイベントを企画し新規顧客の開拓につなげるなど、組織で協力して活動を行うことのメリットについて理解を深めることができました。

また、11月下旬には印旛地域の青年農業者団体「リアルノイ」のメンバー3名を招いた合同研修を開催し、交流を深めました。「リアルノイ」のメンバーからの事例発表では、組織を立ち上げた経緯、マルシェや県外視察などの活動報告、SNSを活用した情報交換の場づくりについて聞くことができました。その後の分散会では、就農の経緯や悩み、これからやりたいことについて活発な意見交換することができました。



分散会では自由な意見交換ができました

「南房総オーガニック」と「リアルノイ」との交流は、地域を超えた農業者同士のつながりをつくると同時に、千葉地域での青年農業者の交流のあり方を考えるきっかけとなりました。

## 4 今後の課題

研修生には、新規参入者も多く、農業経営体育成セミナーが重要な仲間づくりの場となっています。さらに、普段から営農の相談をしたり作業を協力しあったり、また、販売面での連携を模索するなど、セミナーを超えたつながりが醸成されつつあります。

このようなつながりを3か年のセミナー修了後も展開できるよう、セミナー生同士の仲間意識の醸成や交流を促すための活動を行っていきます。

## 5 担当 千葉・習志野グループ、市原グループ、八千代グループ

## 6 協力機関 千葉市、習志野市、市原市、八千代市、JA千葉みらい、JA市原市、JA八千代市